

2050 ゼロカーボンシティ おおさかさやま

Zero Carbon City Osakasayama

近年、地球温暖化に伴う気候変動の影響が顕在化してきており、記録的な猛暑や豪雨の発生による自然災害が各地で頻発しています。

本市においても、年平均気温は上昇傾向にあり、今後も気温上昇が続くことで、極端な気象現象が増加し、自然災害等の影響が強まることが予測されています。

気候変動は世界中で喫緊の課題となっており、2015年に合意されたパリ協定では、「世界全体の平均気温の上昇を産業革命前に比べ1.5度水準に抑える努力を追求する」との目標が掲げられました。

我が国においても、2050年までに、二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「カーボンニュートラル」の実現を表明し、資源エネルギーの大量消費によるライフスタイルから、持続可能な社会への変革が求められています。

大阪狭山市は、「水・ひと・まちが輝き みんなの笑顔を未来へつなぐまち」を将来像に掲げ、市民が安全に安心して暮らせる環境を次世代に引き継いでいくため、SDGsの理念のもと、市民・団体・事業者等あらゆる主体と連携・協働し、2050年までに、二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティおおさかさやま」の実現に向け、全力で取り組んでいくことを、ここに宣言します。

令和7年（2025年）3月21日

大阪狭山市長

古川 照人